

「JA北魚沼産コシヒカリ」栽培ごよみ

世界最高水準の
コシヒカリを安定生産します！

稲が健全に育つ環境を最大限に整え、
化学農薬・化学肥料の使用を必要最小限に抑えます！

栽培上の重点対策等

- ☆耕深 15cm を目指します。
- ☆最適期 (5/15~5/20) の田植えを目指します。
- ☆早期に良質茎を確保し適期に中干しを実施します。
- ☆栽培期間中の水管理を徹底します。
- ☆幼穂を確認し適期に穂肥を施用します。
- ☆出穂日を把握したうえで、積算気温や籾の黄化割合を基に適期刈取りを実施します。
- ☆土壌分析と土づくりを実施します。
- ☆各地で開催される「あぜ道研修会」等に参加し自己研鑽に努めます。



JA北魚沼は
見た目・味ともに
世界一のお米を安定生産します。

病害虫等の耕種的・物理的予防対策

- ☆種子更新は毎年行い、ハウス周辺に籾がらを放置しません。
- ☆除草剤は均一に散布し、散布後7日間は落水・かけ流しをしません。
- ☆補植は早く行い、残った苗は速やかに除去します。
- ☆病害虫の発生要因となる極端な密植や過剰なチツソ施用は行いません。
- ☆草刈は6月中旬~7月中旬に3回以上実施します。
- ☆根を傷める「ワキ」防止のため、稲ワラの秋すき込みを実施します。

環境保全型農業

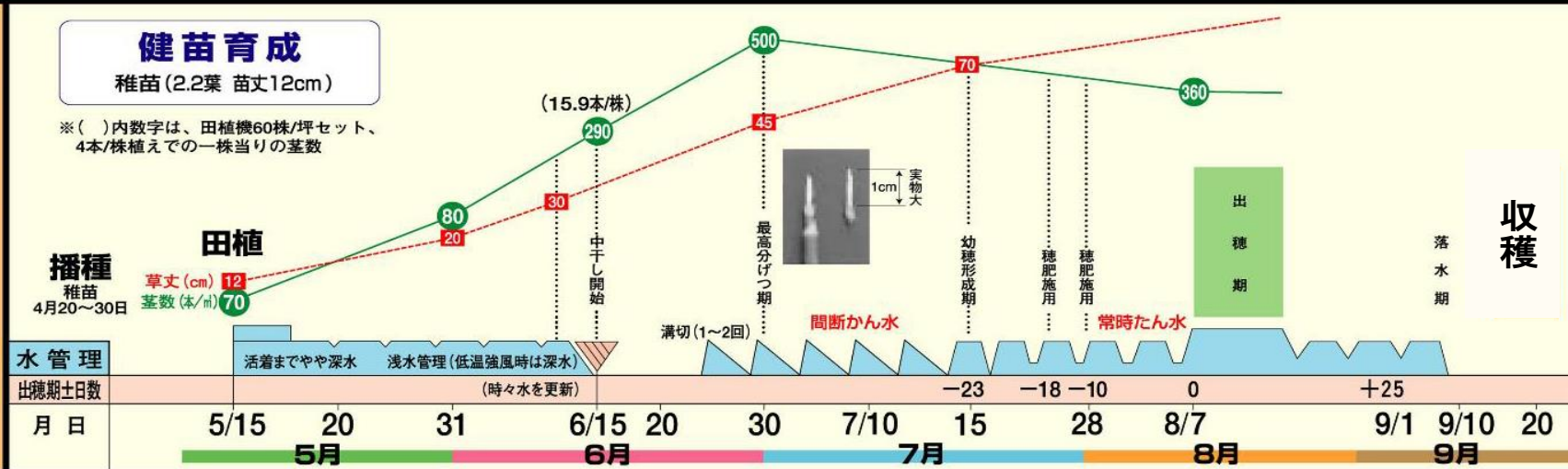
■新潟県特別栽培農産物認証制度
における北魚沼地域県認証基準
(平成27年1月31日現在)

| 節減対象農薬使用回数 (成分回数) | | 化学肥料使用量 (窒素成分 kg/10a) | |
|----------------------|-------|--------------------------|-------|
| 慣行基準 | 県認証基準 | 慣行基準 | 県認証基準 |
| 19 | 9以下 | 6.5 | 3.2以下 |

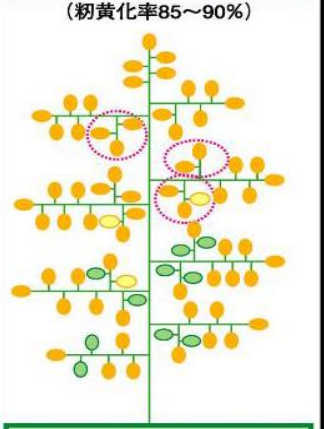
有機質チツソに上限はありません

JAへ出荷する米(カントリーやライスセンターを利用している飯米農家も含む)は【栽培履歴】を記帳し必ず提出します。

生育指標と水管理



刈り取り適期



施肥体系例

基肥

- 魚沼ロマン有機専用 30~40kg/10a
- 有機50ニューフレーバー10 30~40kg/10a
- 魚沼ロマン有機一発285 40~50kg/10a

追肥

- 魚沼ロマングルメエース 20~40kg/10a
- けい酸加里プレミア34 20~40kg/10a

穂肥

- 魚沼ロマン有機穂肥 1回目10kg・2日目10kg
- 味好2号 1回目14kg・2日目14kg

土づくり

- 魚沼ロマンソイルキーパー 40kg/10a
- 魚沼ロマンアイアンスター 60~80kg/10a
- 魚沼ロマン有機堆肥 400~800kg/10a

施用量は地力に合わせて、総化学窒素量が慣行栽培基準の5割減となるよう調整する。

図中の点線内(上位3~4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗籾)が黄化した時が刈り取り適期

注: 籾黄化の診断は1次枝梗が9本程度の平均的な穂について行います。調査本数は10穂程度必要です。

日本以上が該当すれば刈り取り適期

病害虫防除例

種子消毒

- 温湯消毒
- タフブロック 200倍液24時間浸漬

育苗箱施用

初期害虫+いもち病

- ルーチンアドスピノ箱粒剤 移植当日 50g/箱
- ファーストオリゼフェルテラ粒剤 是種時 50g/箱

一斉草刈りによりカメムシの密度を下げる。

草刈り 草刈り 草刈り

補植苗除去

本田施用

斑点米カメムシ類

- キラップ粒剤 出穂10日前 3kg/10a
- スタークル粒剤 穂揃い期 3kg/10a

病害虫の防除は化学農薬だけに頼りすぎず、一斉草刈りや伝染源の除去などと組み合わせて総合的にする。

稲こうじ病

- モンガリット粒剤(出穂21~14日前)
- 撒粉ポルドー粉剤DL(出穂20~10日前)

除草体系例

| | 移植日 | 7日後 | 14日後 | 21日後 |
|--------|----------|--------------------------|--------------------------|---------------|
| ヒエ対策 | | ヤイバ1キロ粒剤 ウイナー1キロ粒剤 5l | | クリンチャー1キロ粒剤 |
| 広葉対策I | | メテオ1キロ粒剤 | ヤイバ1キロ粒剤 ウイナー1キロ粒剤 5l | バサグラン粒剤 |
| 広葉対策II | メテオ1キロ粒剤 | ヤイバ1キロ粒剤 ウイナー1キロ粒剤 5l | | ワイドアタックD1キロ粒剤 |
| カゲワ対策 | | | 月光1キロ粒剤 アクスミMX1キロ粒剤 | ワイドアタックD1キロ粒剤 |

後期剤は雑草多発の場合のみ使用する。

ほ場により環境が異なるので、栽培ごよみに記載されている資材全てを使用するとは限りません。
農薬は登録内容・使用上の注意を必ず確認してから使用しましょう。※農薬の登録内容は平成27年4月24日現在のものです。